

東日本女性審判員研修会報告書

1、日 時 平成24年5月25日(土)～26日(日)

2、会 場 宮城県大和町 ベルサンピアみやぎ泉

3、講 師 (財)日本ソフトボール協会
審判委員会 副委員長 工藤 澄子 様
審判委員 只野 慶勝 様
審判委員 鈴木 利一 様

4、日 程 5月25日(土)
9時00分～ 開講式
9時00分～ 実技研修(準備運動、基本動作と動きの確認、
投球判定、試合形式)
13時00分～ 実技研修(試合形式)
5月26日(日)
9時00分～ ルール改正について
競技者必携について
女性審判員として
審判実務について
11時30分～ 閉講式

5、研修内容報告

① 実践研修(工藤副委員長、只野委員、鈴木委員より)

- ・ 基本動作では、一人一人の動作の確認や投球判定でのストライク・ボールの正確な判定をするために一人一人にアドバイスを頂いた。
- ・ 試合の場面で、うまく処置できないケースが処置できるように、不正投球、守備妨害、走塁妨害、離塁アウトの処置の仕方を説明して頂いて、実践の場面で対応できるようにしてほしい。
- ・ 試合形式は、参加者全員が午前中に1試合分、午後約2試合分の中で、1～2イニング実践した。担当イニング後、クルーごとに細かい部分のアドバイスを頂いた。
- ・ 監督からの抗議への対応は、監督の話をしっかり聞き、短くわかりやすく答え、試合再開とするように。
- ・ 『正確な判定の大切さ』と『声を大きく、毅然とした態度で』やって下さい。
- ・ 今回の研修で、得がたいたくさんさんの経験をしたので、今後の実践に生かしてほしい。

② ルール改正について(工藤委員より)

- ・ 資料に基づいて、一つ一つ確認しながら、お話して頂きました。

③ 競技者必携改正について（只野委員より）

- ・ 資料に基づいて、一つ一つ確認しながら、お話して頂きました。

④ 女性審判員として（工藤副委員長より）

- ・ 基本があって、応用です。
- ・ 見本になる人を決めて、その人から学んで下さい。
- ・ 言われたことを全て頭に入れておくことは難しいので、メモを必ずとって、課題を一つずつクリアして行って下さい。
- ・ 『自分で習得しようとしてやる』ことが大切。（走り、動き、ゼスチャー他）
- ・ 自分の審判をしっかりとやりましょう。（試合のレベルに合わせて走ること）
- ・ ストライクゾーンの乱れは、構えの不安定さからきます。
- ・ 自分の癖を直し、個性を生かしてください。

⑤ 審判実務について（DVD視聴・講話）（鈴木委員より）

- ・ DVD視聴しながら、基本動作・投球について一つずつ丁寧に説明して頂きました。

6、閉講式

鈴木委員（宮城県審判委員長）よりご挨拶

2日間の研修会、大変お疲れ様でした。本当にありがとうございました。今回の研修を自分の技量にとどめずに、それぞれの地元におかえしてください。特に、地元の女性審判員にも伝えてください。

来年度も宮城県で、5月17日（土）～18日（日）にこの研修会を予定しています。是非、ご参加ください。

今年12月開催の東日本サミットは、12月7日（土）に仙台駅近くで開催予定です。

7、感想

会場となった、ベルサンピアみやぎ泉は、昨年も使用した施設で、とてもすばらしい場所でした。

昨年の研修会に続いて、今年も研修会開催して頂く上で、多くの方々のご協力があったることと、本当に感謝の気持ちで一杯になりました。

また、工藤副委員長からは、このような研修会に参加するにあたり、女性は仕事があり、妻であり、親でもあり、嫁でもあるから、家から気持ちよく、家族に送り出してもらえるように、毎日の生活の中で気遣いをしておきましょう、との話がありました。

研修会の中で、講師の方々から多くの貴重なお話やご指導を頂くことができた研修会に参加できたことを感謝し、今回の研修を今後の審判活動にしっかりと生かしていきたいと思いました。また、多くの東日本の女性審判員との交流を深めることができ、良い刺激を受けることができました。今回の東日本女性審判員研修会に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

報告者 杉戸町協会 諏訪 悦子
ふじみ野市協会 岡野 秀子